



The Y's MEN's CLUB of

もりおか



<VOL115.2017.7

もりおかクラブ事務所：〒020-0804 盛岡市本町通3丁目1-1 Tel 019-623-1575 盛岡YMCA内  
盛岡YMCA HP <http://www.ymcajapan.org/morioka/> 検索エンジンワード「盛岡YMCA」

「主題」

国際会長	Henry Grindheim (NOR)	「ともに、光の中を歩もう」
アジア地域会長	Tung Ming Hsiao (台湾)	「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事	栗本 治郎 (熱海)	「広げようワイズの仲間」
北東部長	鈴木 伊知郎 (宇都宮東)	「距離に負けるな北東部、各クラブの個性を磨こう」
もりおかクラブ会長	井上 修三	「原点に戻って 20周年をめざそう！」

今月の聖句 ヨシュア記1章5節

「あなたの行く手に立ちはだかる者はないであろう。わたしはモーセと共にいたように、あなたと共にいる。あなたを見放すことも、見捨てることもない。」

会長	井上 修三
副会長	三田 庸平
書記	濱塚 有史
会計	大関 靖二
担当主事	小川 嘉文
メネット	井上 優子

8月定例会のご案内

日時 平成29年8月5日 (第1土曜日) 18時30分  
 場所 盛岡駅前「うまや」 会費4,000円  
 納涼例会です。短い夏に乾杯  
 第二例会 8月18日(金) 18時30分  
 場所 きのえね本店

井上会長巻頭挨拶



井上会長

今期標語を「原点に戻って 20周年をめざそう！」としました。「あと10年、井上さんこの世にいるの？」と聞こえてきそうです。声が大きいのが幸いして？目立つ私ですが、クラブの存続についてのことなのです。盛岡YMCAを支える精神が衰えない限り、なくなるクラブではないことを念頭に繋げていく精神を表明しました。7月は、

○「キックオフ」さあ新年度始まるぞー。○YMCAサービス(ユース委員会主催 高校生お泊まり体験)。○ASF(アレキサンダー スカラーシップ ファンド)ワイズメンズクラブ創始者ポール・ウィリアム・アレキサンダーを記念して設置された奨学基金、奉仕担当で500円/人以上の目標。

○ORB(ロールバックマラリア)国際レベル統一5ヶ年事業。第2期事業として開始した継続事業国際・交流担当で、2010年よりマラリア撲滅関連事業として開始した。○継続事業 国際・交流担当で800円/人以上。4項目があげられています。

英語の頭文字に弱い代表的日本人である私自身に覚えこませる為にも敢えて書きだしてみました。すでに十分承知という面々にはお許しを…。

7月第一例会の報告

平成29年7月8日(土)きのえね本店で開催。出席者:大関、長岡、井上、井上優子、濱塚、古澤、小川、中原、山口、魚住英昭(盛岡YMCA理事長)(敬称略) ゲスト、鈴木 伊知郎様(2017~2018北東部部長)、二永 芽生様(ビリケンリーダー)、東 彩由海様(マックスリーダー)以上13名の参加で開催されました。



鈴木北東部長

新年度のキックオフ例会です。早速、鈴木北東部長のクラブ訪問をいただきました。北東部の引継ぎを兼ねて来盛いただきました、ありがとうございました。さらに今日は魚住英昭メンの入会式を行いました。盛岡YMCAの新理事長に就任いただき、ワイズメンズクラブにも入会していただきました。キックオフを盛



魚住メン宣誓 鈴木北東部長 魚住メン 井上会長

り上げる入会式はいいですね。仲間が増えるのは嬉しいものです。栗本治郎東日本区理事も喜んでくれると思います。井上会長の入会式もますます板についてきました。9月には、村田 里文様(元MOA美術館勤務)の入会も予定されています。今年度は新生もりおかクラブをめざして、会員の増強を図っていきましょう。魚住さんは、YMCAの活動を通して、一緒に活動してきましたので、新人という感じがしません。ずいぶん前から親しくお付き合いしてきました。どうぞこれからも盛岡YMCAを力を合わせて盛り上げていきましょう。今日のリーダーゲストはビリケンとマックス。ビリケンは大阪出身、マックスはあのイモトアヤコに仮装した子です。大関さん、顔とリーダー名覚えましたが？例会に出席してくれるリーダーはその会で完全に覚えましょうね。



新年度に乾杯～、中央の手は井上会長の手？



いい写真です、みんな笑顔。もりおかクラブの未来は明るい！

### キックオフ2017！

キックオフとは、フットボール系のスポーツで、試合開始やリスタートの時に使う言葉です。物事の初めに使う時もあります。(キックオフミーティングなど)私はラグビー経験者ですので馴染みのある言葉、響きです。どこへ転がるかわからない楕円のラグビーボールを追いかけて掴み取り相手ゴールに持ち込みトライ、気持ちの良いものです。今年の栗本理事のEMC目標は、新会員獲得はトライ、新クラブ設立はトライ後のコンバージョン成功ということでしょうか。東日本各地に散らばって



いる所属クラブが自分のポジションをしっかりと守り、失点を許さずボールを奪ったら一気にゴールを目指す。俊足のウイングがタッチライン沿いを駆け上がりダイビングトライ。トライを奪った選手はヒーローですが、彼にボールを渡したのは足の遅いフォワードなのです。チームメイトに感謝しなければなりません。まさにチームワークですね。クラブ間、部間、そして東日本区の統一した意思疎通が大事なのは言うまでもありません。栗本理事大変ですが一緒にトライ奪取まで走りましょう。キックオフからこんな事を考えていました。 長岡

### 第28回アジア太平洋地域大会仙台で開催決定！



次期アジア太平洋地域会長 田中ワイス

7月2日、仙台YMCAにて会議が行われました。次期アジア太平洋地域会長、田中さん。東日本区理事、栗本さん。次期東日本区理事宮本さん。次次期東日本区理事、太田さん。直前東日本区理事、利根川さん。北東部長、鈴木さん。直前北東部長、長岡。宮城県のワイズメンズクラブ、4クラブの会長、書記を務める代表の面々。仙台YMCA、村井総主事。いったいこんなメンバーでなんの会議でしょう。そうです、田中さんが主体で開催された会議は「2019年に仙台でアジア太平洋大会を開催したい。」というものです。実は、6月の東日本区大会での代議委員会で同大会を北東部で開催の立候補を行うという所までは決まっておりました。内容は表題の通り。仙台で開催の立候補をする

事になりました。田中さんからの宮城4クラブへ対しての受け入れ要請は思いを込めてのものでした。これを受けて、重苦しい雰囲気の中で宮城4クラブのメンバーだけの話し合いが40分行われました。退席中の訪問メンバーが会議室に戻った後、「受け入れ承諾」の意思が伝えられました。実行委員長に山田さん(十勝クラブ)。事務局長に山本さん(川越クラブ)。副実行委員長に、青葉城クラブの加藤さんが就任するという事で決定しました。この時期ではまだ立候補するという段階でしたが、「第27回アジア太平洋地域大会がタイ・チェンマイで大会に先立って開催されたアジア太平洋会議にて、第28回アジア太平洋地域大会は2019年7月19(金)～21(日)に仙台にて東日本区のホストで開催することが決定されました。」とのメールが田中さんより入り、決定しました。第28回アジア太平洋地域大会開催決定おめでとうございます。これから準備が大変ですが、東日本区の総力を挙げて成功に向かって前進していきましょう。



仙台的開催決定会議賛成派？



利根川直前理事、田中さん



栗本理事

宮城4クラブの代表の方々。ん～重苦しい。反対派？

# 「フリテン盛岡DAON」

## もりおかクラブの状況報告

7月の出席率	9/12	69 %	ゲスト 2名	ビジター 1名	メネット 1名		
メーキャップ	0	名		7月切手	10	g	累計 138 g
7月のにこにこ	17,000	円	累計 11,000 円	7月プルタブ	22,000	g	累計 22,000 g
7月 石鹸	0	円	累計 563 円	りんご	3,000	円	累計 円
7月震災募金	0	円	累計 0 円	ファンド合計	0	円	

会費の納入をお願いいたします。岩手銀行 松園支店(店番号 082)普通口座 2145674

もりおかワイズメンズクラブ 会計 大関 靖二

7月のハッピーバースディ 7/18 井上 優子メネット 誕生日おめでとうございます。

## 救急救命対応、蘇生法講習会開催。

7月9日、内丸教会で盛岡YMCAのボランティアリーダーを対象に救急救命蘇生法の講習会が開催されました。約40人のリーダー達に5名の盛岡消防署救急隊員が来てくれて、4つのグループに分かれて実地講習会です。ダミーの人形を使い、心



全員真剣に講習を受けています。

臓マッサージ、人口呼吸の方法、AEDの使用方法などを全員が疑似体験しました。これは大切な事です。濱塚総主事がキャン

プを行う上で起きるであろうアクシデントに対応するために開催しました。もちろんこの技術は、その場に居合わせた一般の方々に対しても有効で、いつ起きるかわからない救急救命を想定しての大変有意義なものでした。

この日は、前日の8日から、高校生のお泊り合宿が教会で開

催中。当日の午前中は日曜礼拝も同時進行中でした。長岡は何をしていかたかというと。焼きそばを焼いておりました。日曜礼拝の教会員に昼食の販売です。500円、高いと思ったのですが陽子牧師が献金を含めての購入を呼び掛けてくれて、多数販売でき



これは、おやつチョコリソ食べています。

ました。合宿中の高校生の昼食、講習会に参加したりリーダー達のおやつに長岡特性「麵を

焼く焼きそば」を提供しました。益金は盛岡YMCAユース委員会の資金にあてました。ユース委員会の高校生キャンプが7月28日から30日まで岩手山焼け走りで開催されます。それを含めて初期段階の活動費の捻出でした。高校生は焼きそば作りを積極的に手伝ってくれて、長岡ほとんど指示を出すだけで終わりました。さらに、午後はユース委員の村上さんのお知り合いのミュージシャンがペルーの民謡を演奏してくれました。1日の中で4つのメニューがぎゅっり詰まった1日を過ごしました。充実感でいっぱいでした。

## 2017北東部第一回評議会開催

7月29日、北東部2017がキックオフしました。場所は宇都宮さくらんぼ幼稚園。北東部の各クラブが一堂に会して評議会を行いました。



いざ立てワイズメン、こころ新たに

鈴木部長の開会点鐘、湧澤次期部長の閉会点鐘の間に、中身の濃い充実した話し合いが行われました。

最大の議案は、栗本理事方針による、複数年活動を続けるエクステンション委員会の設置です。構成員は湧澤博メン(仙台青葉城、鈴木伊知郎メン(宇都宮東)、清水弘一メン(石巻広域)、

井上修三メン(もりおか)、村田榮メン(那須)、大久保知宏メン(宇都宮)、関喜一郎メン(石巻広域)、および各年度の会員増強事業主査となります。確かに複数年活動していかないと新クラブ設立はなかなか困難です。過去のクラブ設立までの経緯をみても1年で結果が出る事はまずありません。このエクステンション委員会が結果を出すのは次年度以降となるのは予想できません。栗本理事の未来を見据えた企画運営に最大級の称賛を送りたいと思います。東日本区の会員増強に対し、具体的でご自身の任期にとらわれない考え方に共感しました。本年度後半から来年度以降に新クラブが各部に誕生していく事に期待しましょう。毎年40万円程度の繰り越しが、会計より報告されています。ユースリーダーズアクトの開催は決まりましたが、各クラブの個別支援ではなくて、北東部の会計より支援することが決まりました。また、国際大会において行われるユースコンボケーションにユースのメンバーを派遣する費用も北東部から支出する事がき

まりました。「予算に余裕があるのであれば、若者の活動に投資するのはワイズメンの存在意義である。」と考えました。さすが北東部のメンバーです。あらためて感動しました。

今年度の北東部会は宇都宮グランドホテルで、9月9日開催されます。実行委員長は岡田孝司メン、ファンドで資金を造り開催費用に充当する旨を発表して、登録費わずか6,000円で開催するとのこと。意気込みと行動力に脱帽しました。よろしくお願いたします。新監事に、菊地弘生メンを選出して会議は終了しました。

部長主題の通り、距離に負けず活発な活動を続けていきましょう。



さあ、キックオフです。一年頑張っていきましょう～、お～

## 盛岡、肴町七夕まつり

盛岡の肴町は、さんさ踊りの最終日の4日から、7日までお祭りをリレーして七夕まつりを開催いたします。仙台の七夕を真似して、ずいぶん前から開催しておりました。さんさ踊りは、企画まつりの「盛岡川まつり」が原点です。この川まつりは、企画運営ともに大失敗して数年で消えてしまいました。肴町の通りをさんさ踊りの輪踊りで市民の参加を募るもので、肴町の七夕とコラボするという企画でしたが、肴町側は「さんさ踊りは地域別で特定の団体だけ招待するのは、..」という感覚だったと聞きました。



さんさ踊りに続き七夕まつりです。

川まつりが無くなったおかげで、飾りつけの制限が無くなり、さらにアーケードが完成して雨に濡れる心配も無くなり、七夕まつりは独自に進化をとげました。お盆前、盛岡のもう一つのおまつりです。商店街が総力をあげて集客に努めています。もちろん「みかわや」もその一つです。地方都市のドーナツ現象で、中心部の商店が商いをやめてしまう事を、独自の発送と努力で、どっこい盛岡の旧商店街は元気いっぱいです。バスセンターが廃止になりましたが、肴町前はバス路線の基幹路線には 変わりなく、人の往来は健在です。短い夏の期間ですが、私たち盛岡人は肴町を愛して、お買い物やイベントにはどんどん繰り出しましょう。どうぞ皆さま、お出かけください。来年からは、もりおクラブのお店も出店する予定です。もちろん、ファンドの資金集めが目的です。

比較すると、大きさが解ります。

## 今年の体験農場が始まりました。



大関さん孤軍奮闘

7月9日、薮川の体験農場で蕎麦の種まきを行いました。参加者は大関ご夫妻のみ！、だ～れも行きませんでした。だって内丸教会で焼きそばと販売をしていましたから。大関さんごめんなさい。行事が重なるとこんなこともあるのですね。

斯くいう大関メンは、木の実をたくさん取ってきて、奥様がジャムを造ってくれたとの事。まあ、これからも刈り取り、脱穀、体験蕎麦打ちと続きますのでごかんべんください。来たるべき、そば打ち体験試食会が楽しみです、今年はどんなドラマが起きるのでしょうか。

昨日の第一例会に出席していただいた、鈴木北東部長と北東部の引継ぎが予定されていたので、野良作業を終えてすぐに盛岡へ引き返し、引継ぎ作業に入りました。

## 編集後記

キックオフという言葉が、ブリテン編集中、頭にこびりついて離れませんでした。こんなにキックオフにこだわった年はなかったように思います。理事方針に対し、こんなに具体的な対応が計られたのも初めてのような気がします。なぜかやる気が出てきたライターです。

8日の焼きそばを焼いたあと、使用する鉄板とガスコンロを引き取りました。よく見ると慢性的な焦げ付きや、油粕の汚れで汚たないものでした。オーバーホールしました。鉄板は長時間わかしお石鹼に浸し、金たわしで焦げを削りとり、乾燥した後紙やすりでピカピカに仕上げました。ガスコンロも長年の汚れで触ると手がベトベト状態でしたので、分解して丁寧に整備しました。

コンロの乾燥に2日かかり、仕上げようとしたところ、鉄板に赤錆びが浮いていました。また紙やすりで錆を削り落として、サラダ油で表面を覆い、キッチンペーパーでガードしました。次回使用する時の濱塚メンの驚く顔が早くみたいです。

盛岡の七夕祭りは、たぶん仙台の100分の1の規模です。アーケード長さが違いますし、仙台は七夕祭りがそのまま東北の夏祭りの代表です。盛岡は仙台をまねていろんな事をしますが、敵うわけがないので、盛岡らしさをよく考えて企画することを心掛けましょう。ワイズメンのクラブ数だって4に対して1ですもんね。現在30日、午前5時30分、ブリテンが完成しようとしています。29日の評議会の記事が7月号のブリテンに掲載です。速さは東日本区一ですよ。少し自慢でした。 長岡